

三重

●三重支社

四日市市浜田町3-12
四日市三交ビル3階
059(354)6116
FAX 059(329)5333

●津支局

津市羽所町536オーシャンビル
059(228)2545



Area News

非常食の設置推進へ

10月、四日市で配布

NPOや協賛企業募集

シルバーフードサービス

災害発生時に活用できる非常食の設置を推進。NPO法人シルバーフードサービス（事務局四日市市昌栄町8の12、古谷賢治理事長、電話059・351・1919）は10月1日から、四日市地区を皮切りに非常食設置推進運動を本格展開する。1人1日分の簡易食と2リットルの水が1箱に入った非常食を10月、同市の中央緑地公園内で1千個を配布する予定。同NPOはこの事業の全国展開を計画しており、各地域で活動してくれるNPOや、事業に協賛してくれるスポンサー企業などを募集している。

（四日市・横井清）

同NPO法人は02年として別会社化、これまで日本大震災などの教訓設立。高齢者向け給食では休眠状態だった。事業を08年に分離独立。阪神淡路大震災や東

識を高めてもらうきっかけづくりになればと、災害用非常食の設置推進運動「白い小箱運動」を展開することにしたという。

小箱には、ペットボトルの水2リットル、ぶどう糖（約70g）、乾燥させたおかゆ、五目ご飯、エビ

配布用食品や加工作業に関しては、同運動の発起人代表でもある、福祉医療関連の日本ケアシステム（本社四日市市）、社会福祉法人亀鈴会（本部鈴鹿市）が協力している。

配布する小箱に掲示



「白い小箱」をPRする古谷理事長

するスポンサー広告。NPOなどを募つていく。また、食品衛生管理上、配布した非常食は3年後に回収。回収食は海外の恵まれない地域へ送ることを計画している。古谷理事長は「11月には東京・幕張メッセでの福祉関連の展示会にも出展する。事業に賛同してくれる人のネットワークを全国に広げたい。自主防災、自助意識を高めてもらうきっかけにしてほしい」と話している。